使用材料・強度

使用材料

コンクリート： Fc=18 N/mm² スランプ 18 cm

鉄　　　筋： D10～D16:SD295

※ S-01を要確認

■ 鉄筋のかぶり厚さ（単位：mm）

構造部分	最小かぶり厚さ (mm)	設計かぶり厚さ (mm)
土に接しない床スラブ・屋根スラブ・非耐力壁(屋外)	30	40
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎ梁	40	50
基　礎　（捨コンクリート部分を除く）	60	70

■ 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L_1)
		一般 (L_2)	下端筋 (L_3) 床・屋根ｽﾗﾌﾞ	
SD295	18	40d または 30d フックつき	10d かつ 150mm以上	45d または 35d フックつき

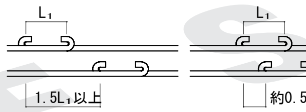
施行令の重ね継手の長さ40dでも可

継　　手

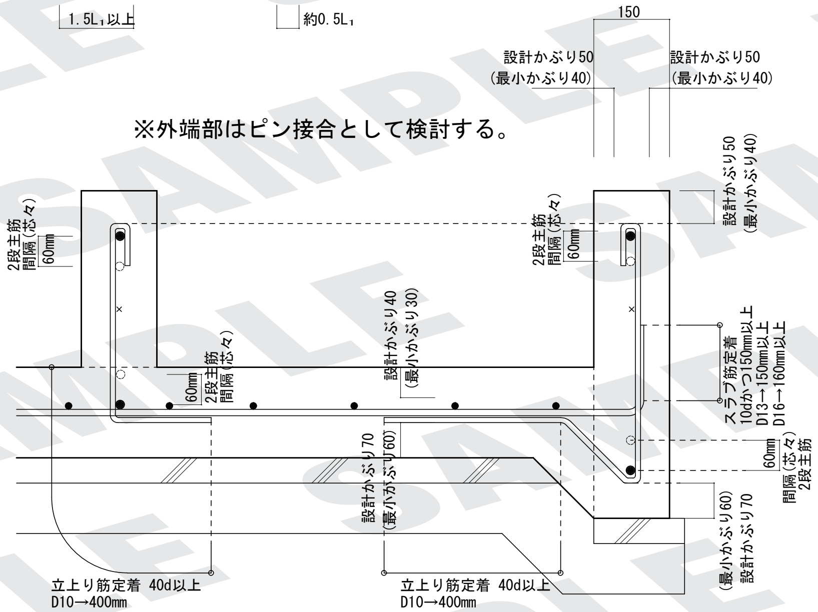
1, 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない

2, 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする

3, 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
　重ね継手(下図のいずれかのようにずらす)



※外端部はピン接合として検討する。

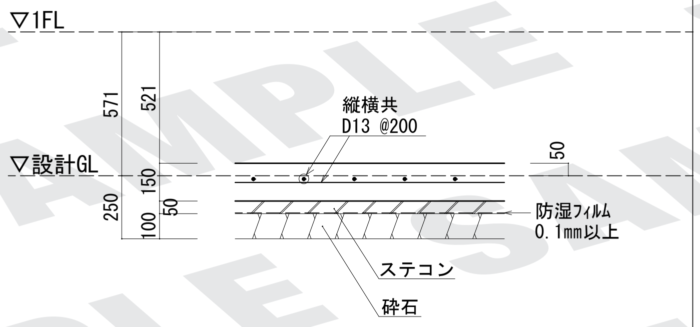


※現場組鉄筋の場合は、縦筋端部をフック付し、必要な定着を設けることとする。
　認定ユニット鉄筋の場合は、縦筋端部のフックの省略が可能。
　認定ユニット鉄筋の規定を順守すること

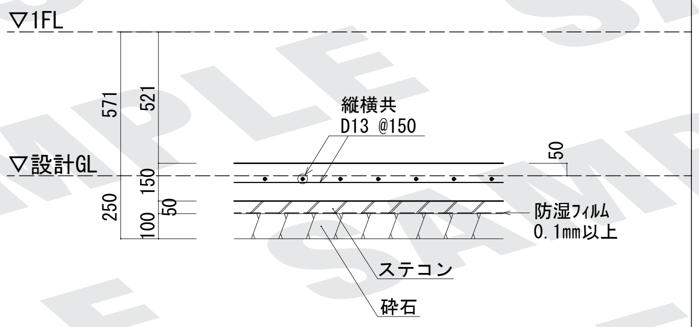
※床付面は地盤面を荒らさぬように注意すること。
　床付面は既存状況により荒らされた場合、現場の状況により捨てｺﾝｸﾘｰﾄ厚を増すこと。
※捨てｺﾝｸﾘｰﾄ・砕石地業の厚さ・有無は施工者の判断による。
※捨てｺﾝｸﾘｰﾄを省略する場合、以下に注意すること。
①不陸差による型枠・鉄筋の高さ位置を正しく決めるのが困難なため、
　型枠・鉄筋を保持する台などを設ける
②根切り底面の安定化を図るため砂・砂利・砕石を充分に締め固め、表面を平滑に仕上げる
③根砂・砂利・砕石が乾燥しているときなど、ｺﾝｸﾘｰﾄが急激に脱水されてしまうおそれが
　ある場合は散水する。
④規定のｽﾗﾌﾞ厚を確保する。

※現場組鉄筋の場合は、縦筋端部をフック付し、必要な定着を設けること

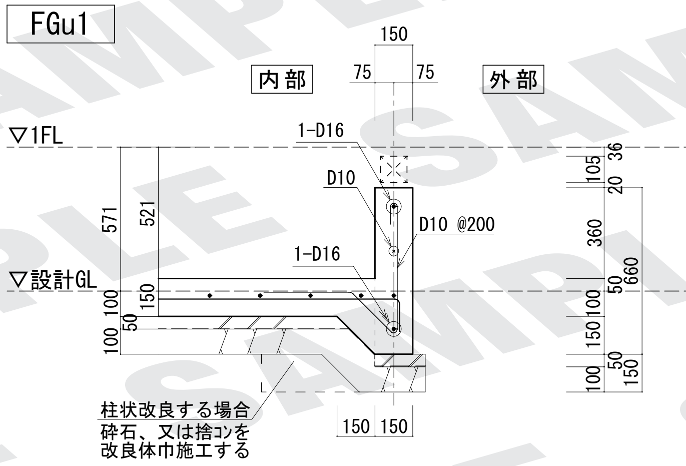
FS1



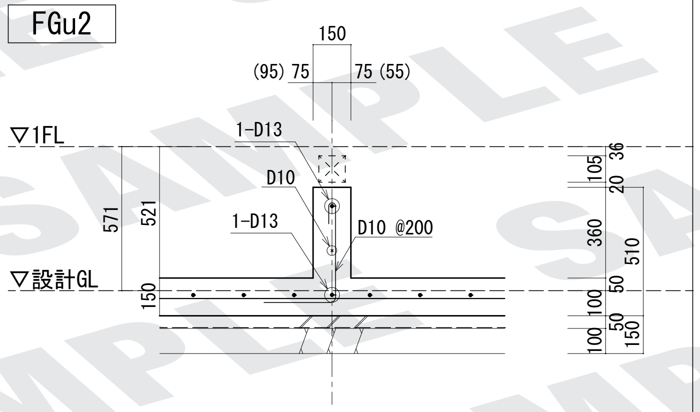
FS2



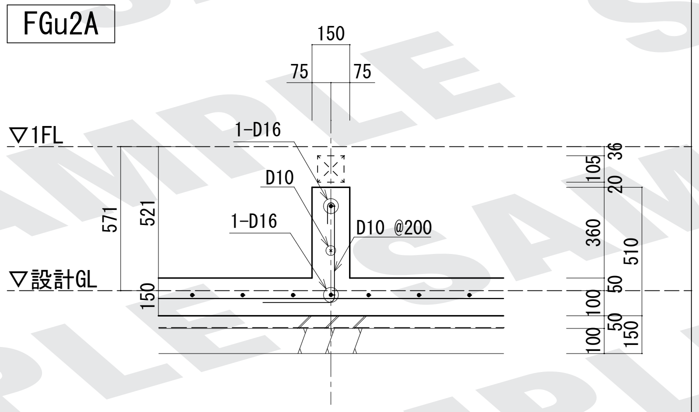
FGu1



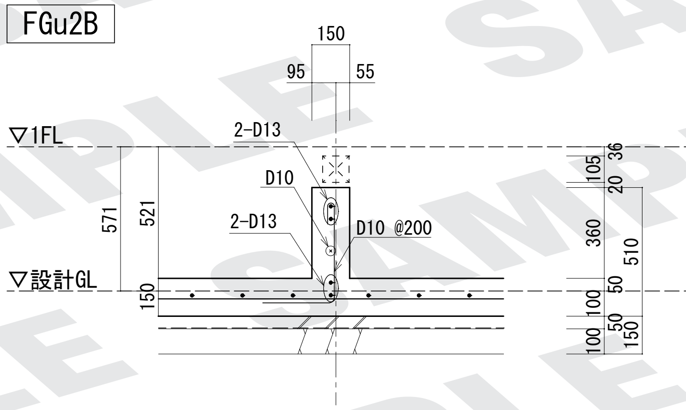
FGu2



FGu2A

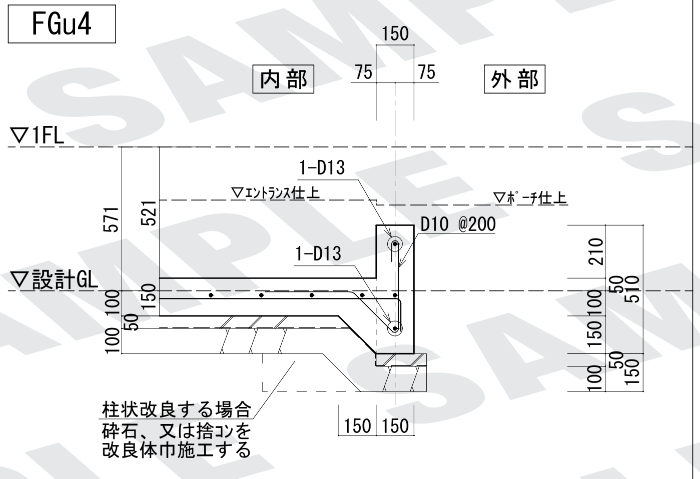


FGu2B

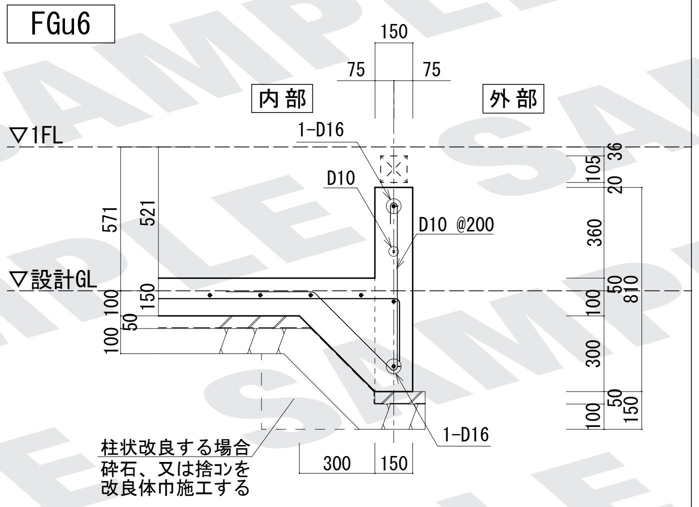


※一部、基礎芯振り97.5/52.5mm

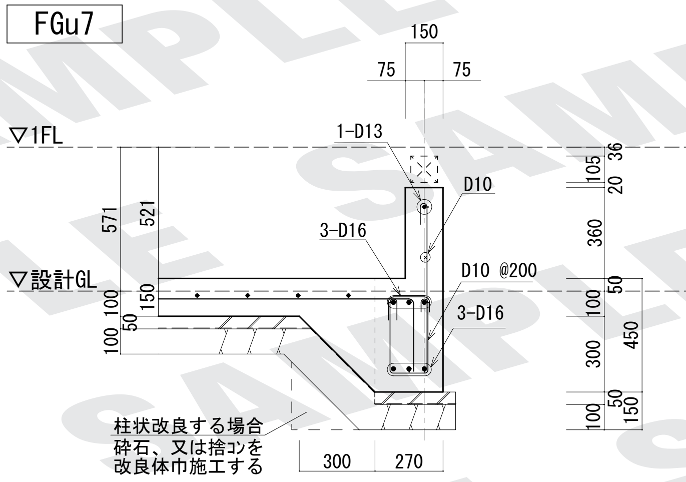
FGu4



FGu6



FGu7



施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

ダイガク 二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :

DATE :

PROJECT TITLE: 耐震等級3 2階建て 傾斜軸組

DRAWING TITLE: 基礎断面図(1)

SCALE S=1/30

SHEET NO S-01a

SAMPLE

使用材料・強度

使用材料

コンクリート： Fc=18 N/mm² スランプ 18 cm

鉄　　　筋： D10～D16:SD295

※ S-01を要確認

■ 鉄筋のかぶり厚さ（単位：mm）

構　造　部　分	最小かぶり厚さ (mm)	設計かぶり厚さ (mm)
土に接しない床スラブ・屋根スラブ・非耐力壁(屋外)	30	40
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎ梁	40	50
基　礎　（捨コンクリート部分を除く）	60	70

■ 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L_1)
		一般 (L_2)	下端筋 (L_3) 床・屋根ｽﾗﾌﾞ	
SD295	18	40d または 30d フックつき	10d かつ 150mm以上	45d または 35d フックつき

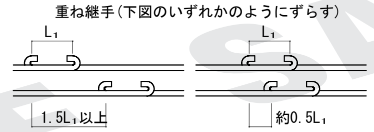
施行令の重ね継手の長さ40dでも可

継　　手

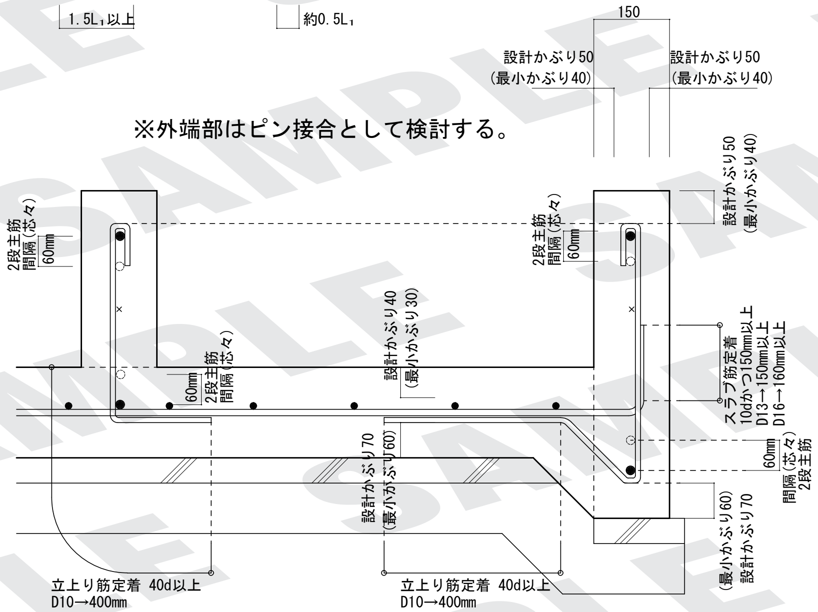
1, 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない

2, 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする

3, 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
重ね継手(下図のいずれかのようにずらす)



※外端部はピン接合として検討する。

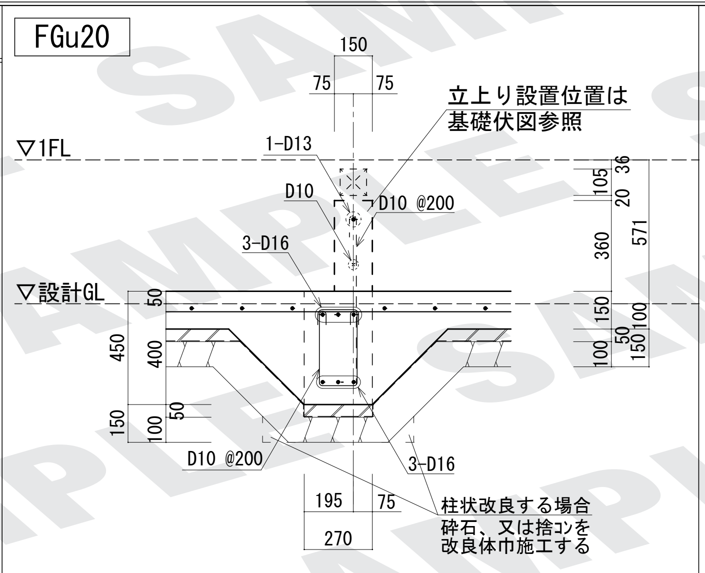


※現場組鉄筋の場合は、縦筋端部をフック付し、必要な定着を設けることとする。
　認定ユニット鉄筋の場合は、縦筋端部のフックの省略が可能。
　認定ユニット鉄筋の規定を順守すること

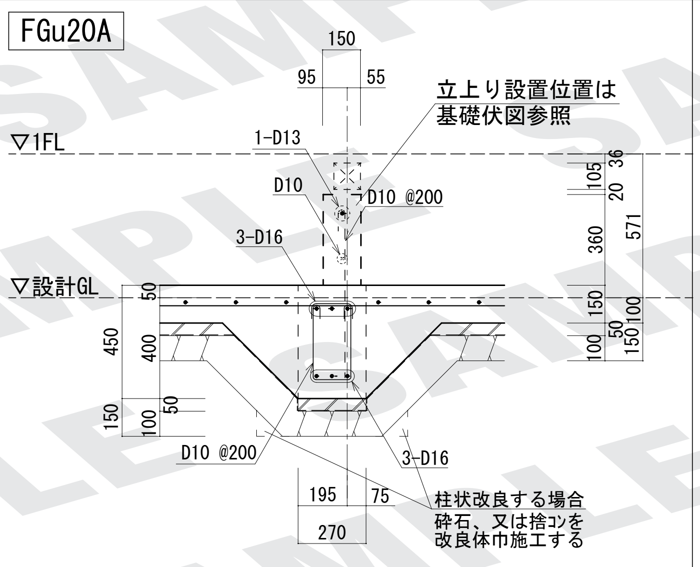
※床付面は地盤面を荒らさぬように注意すること。
　床付面は既存状況により荒らされた場合、現場の状況により捨てｺﾝｸﾘｰﾄ厚を増すこと。
※捨てｺﾝｸﾘｰﾄ・砕石地業の厚さ・有無は施工者の判断による。
※捨てｺﾝｸﾘｰﾄを省略する場合、以下に注意すること。
①不陸差による型枠・鉄筋の高さ位置を正しく決めるのが困難なため、
　型枠・鉄筋を保持する台などを設ける
②根切り底面の安定化を図るため砂・砂利・砕石を充分に締め固め、表面を平滑に仕上げる
③根砂・砂利・砕石が乾燥しているときなど、ｺﾝｸﾘｰﾄが急激に脱水されてしまうおそれがある場合は散水する。
④規定のｽﾗﾌﾞ厚を確保する。

※現場組鉄筋の場合は、縦筋端部をフック付し、必要な定着を設けること

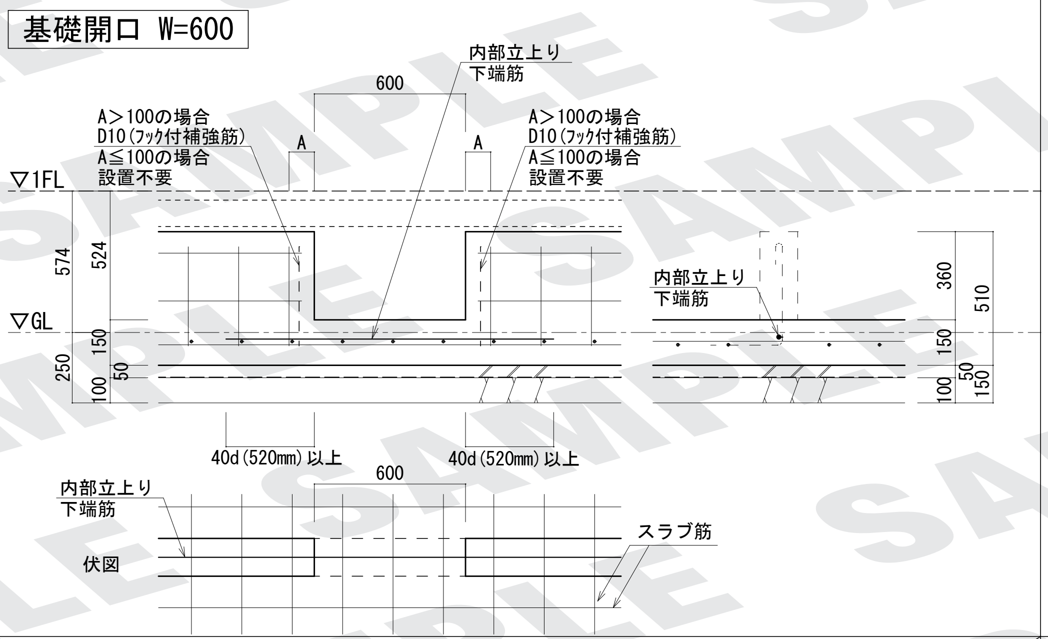
FGu20



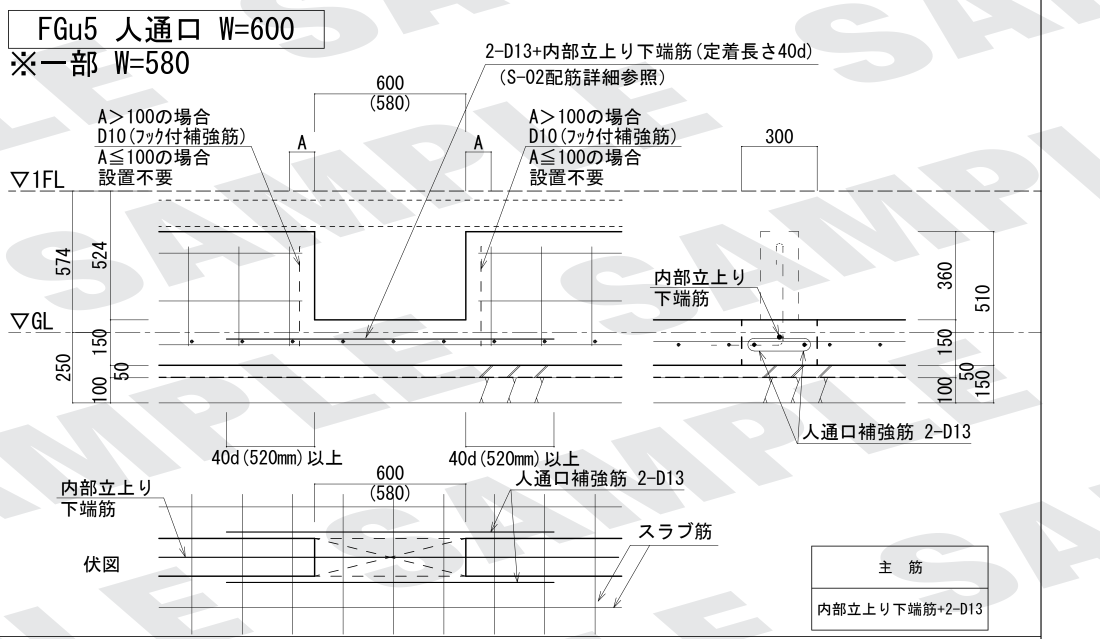
FGu20A



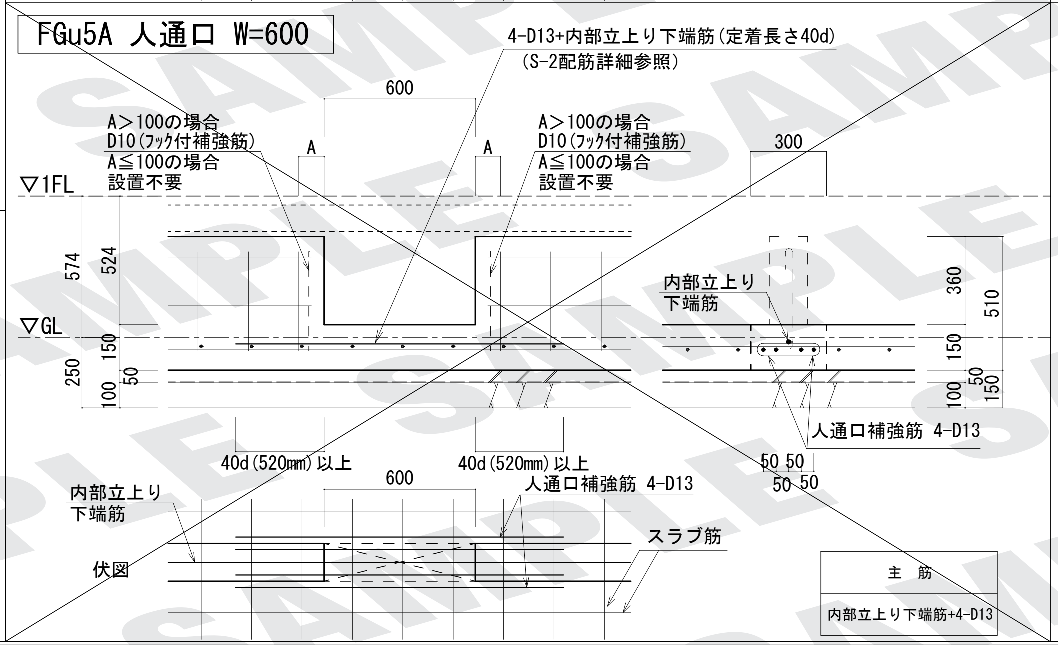
基礎開口 W=600



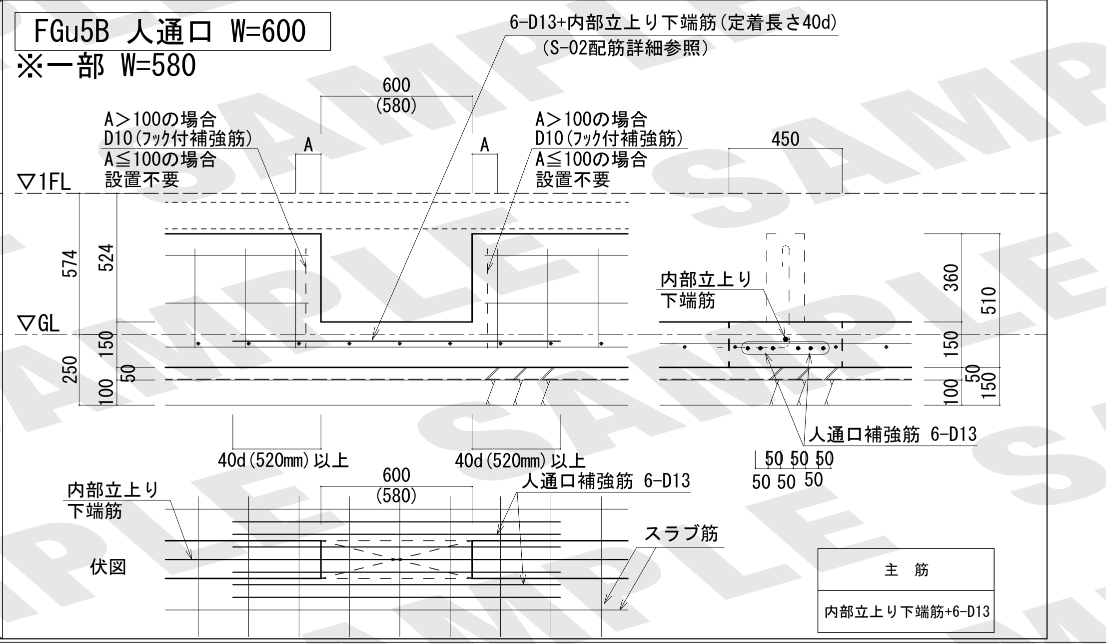
FGu5 人通口 W=600
※一部 W=580



FGu5A 人通口 W=600



FGu5B 人通口 W=600
※一部 W=580



施主承諾	営　業	設　計	工　事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

ダイガク
二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :

DATE :

PROJECT TITLE: 耐震等級3 2階建て 傾斜軸組

DRAWING TITLE: 基礎断面図(2)

SCALE: S=1/30

SHEET NO: S-01b

SAMPLE

基 礎 伏 図 凡 例

記号	項目	頭だし	芯より	埋込長さ
○	M12 アンカーボルト A-40同等品 M12×400	基礎天+120mm	芯より150mm ※200mm	250mm以上
	※M12 HD時は芯より200mm 土台継手時は芯より300mm			
● HD20 HD25	M16 アンカーボルト A-70同等品 M16×700	基礎天+340mm	芯より83mm ※98mm	360mm以上
	※M16 柱:120×120mmの柱にHDが取り付く場合は芯より98mm			
● HD20枠 HD25枠	M16 アンカーボルト A-70同等品 M16×700	基礎天+340mm	芯より128mm ※143mm	360mm以上
	※M16 柱:120×120mmの柱にHD(枠)が取り付く場合は芯より143mm			
15 ←● HD20 HD25	M16 アンカーボルト A-90同等品 M16×900	基礎天+540mm	芯より83mm	360mm以上
	※筋交い干渉回避用に上に伸ばす。芯より矢印方向に15mmずらす			
● HD30 HD30枠 HD35 HD35枠	M16 アンカーボルト A-90同等品 M16×900	基礎天+360mm	芯より83mm 芯より128mm(HD35枠)	540mm以上
	※スラブ打設前に要設置 スラブ打設後に設置する場合は埋込長さが短いカネシン コルトアンカーボルトM16等を使用すること ※内部基礎立上り部はカネシン コルトアンカーボルトM16等を使用すること			
◁┤	土台継手位置			

※特記無き限り下記による

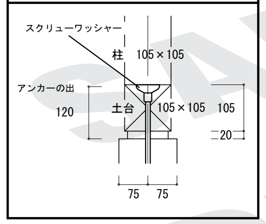
※ 防湿フィルム 0.1mm以上
※ 特記なき限り下記による。
アンカーボルト(M12,柱芯から150離れ,@2,000以下)
※ 特記なき人通口の幅 600mm とする。
※ スラブ筋重ね継手の定着長さは40d以上とする。
※ 根切り時(砕石を敷く前)、根切底を充分に転圧する。
※ コンクリートの設計基準強度：18N/mm²

(床排水記号)	床排水	((汚)：汚水排水管 (雑)：雑排水管)

地耐力

長期設計地耐力 fe＝22.0 kN／m ²
※ 施工前に敷地内に於いてスウェーデン式サウンディング等の地盤調査を行い、支持層及び地耐力を確認する。
地耐力が22.0kN/㎡以上に満たない場合は地盤改良を行う。

基礎断面詳細図

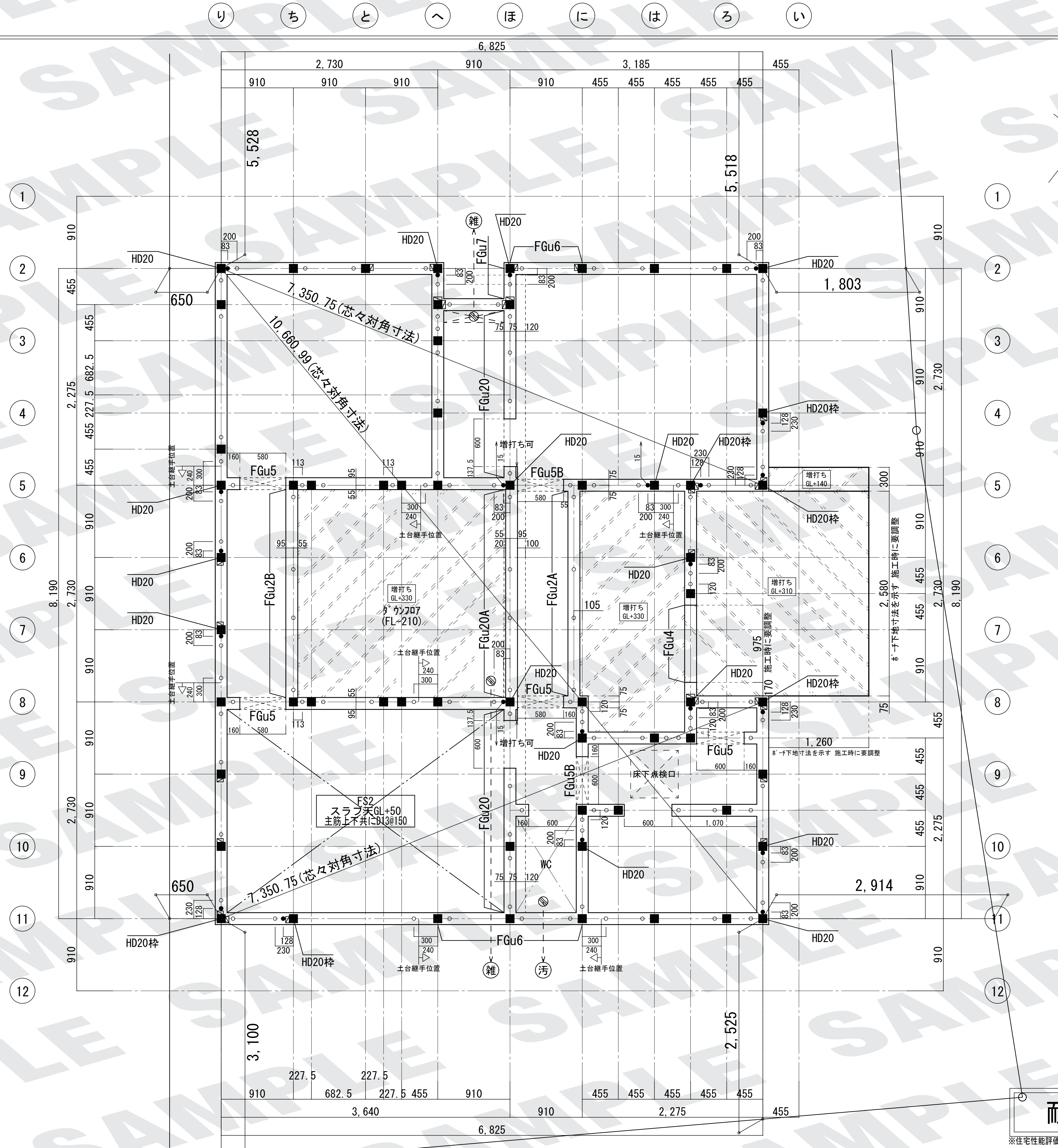


※既設RC擁壁・既設石積・既設ブロック土留等については、クラック・水抜き等支障なく安全である(意匠設計者)
(新設RC擁壁・石積・ブロック土留等についても同じ)

※構造設計者は意匠設計者の判断に従い、擁壁等は構造的に問題なしとし安息角を考慮せず、基礎等の設計を行います

※構造設計者はこれらについては責任を負いません

※ 特記なきスラブは FS1 とする。
※ 特記なき外部基礎立上りは FGu1 とする。
※ 特記なき内部基礎立上りは FGu2 とする。
※ 特記なき基礎スラブ天端は GL+50 とする。
※ 特記なき外周部基礎立上りの芯振分けは75mm/75mm とする。
※ 特記なき内部基礎立上りの芯振分けは75mm/75mm とする。



※地盤説明は地盤調査報告書による
※外周部の主要な出隅部は、HD20以上を取りつける(計算結果に拘らず)

耐震等級3
※住宅性能評価を取得しないと、耐震等級3相当になります

施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

ダイガク
二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :
DATE :

PROJECT TITLE
耐震等級3 2階建て 傾斜軸組

DRAWING TITLE
基礎伏図

SCALE
S=1/55

SHEET NO
S-02

SAMPLE

土台伏図凡例

※特記無き限り下記による

記号	種類	
═══	土台(注入)(105×105)	(桧･米松) KD無等級材 (唐松、国産赤松)集成 E95-F315 同一等級
＝＝＝	大引(注入)(90×90)	(桧･米松) KD無等級材 (唐松、国産赤松)集成 E95-F315 同一等級
□	鋼製束	使用基準による
■	管柱(105×105)	(杉集成 E65-F255 トドマツ集成 E85-F300) 同一等級 (WW・RW・唐松・桧・エゾマツ)集成 E95-F315 同一等級 米松集成 E135-F405 トドマツ集成 E75-F270 同一等級
	特記なき柱のホゾ寸法は 8.6cm×3.0cm以下とする。	
	床板(1階)	構造用合板 t=24(四週釘打ち N75@150以下)

※GLからの高さが1m以内の外壁の軸組、木質系の下地材は現場にて防腐・防蟻処理を行う
※部材断面・材料強度等の変更に関しては、安全側への変更を許容する(耐力壁が載る梁を除く)

柱脚・柱頭金物種類 (在来工法)

※下記耐力と同等以上の金物も使用可能

符号	種類	耐力(KN)	備考
CP	告示1460号表3(は)	5.1	
HDC	告示1460号表3(へ)	10.0	平面・L型接合金物を想定 1階柱脚は土台が7.0kNで先行破壊 7.0kN超はM12用座金×2個もしくはHD20で対応
HD20 HD20枠	告示1460号表3(ち) 性能試験適合品 枠材45mm対応品	20.0	
HD25 HD25枠	告示1460号表3(り) 性能試験適合品 枠材45mm対応品	25.0	
HD30 HD30枠	性能試験適合品 性能試験適合品 枠材45mm対応品	30.0	M16ｱﾝｶｰの埋め込み長さを要確認 Zﾏｰｸ品は耐力25kN以下を想定
HD35 HD35枠	性能試験適合品 性能試験適合品 枠材45mm対応品	35.0	M16ｱﾝｶｰの埋め込み長さを要確認 Zﾏｰｸ品は耐力25kN以下を想定
OC20	オメガコーナー20	21.7	㈱タナカ(性能試験適合品)

※特記なき柱頭・柱脚には CPを取付けること

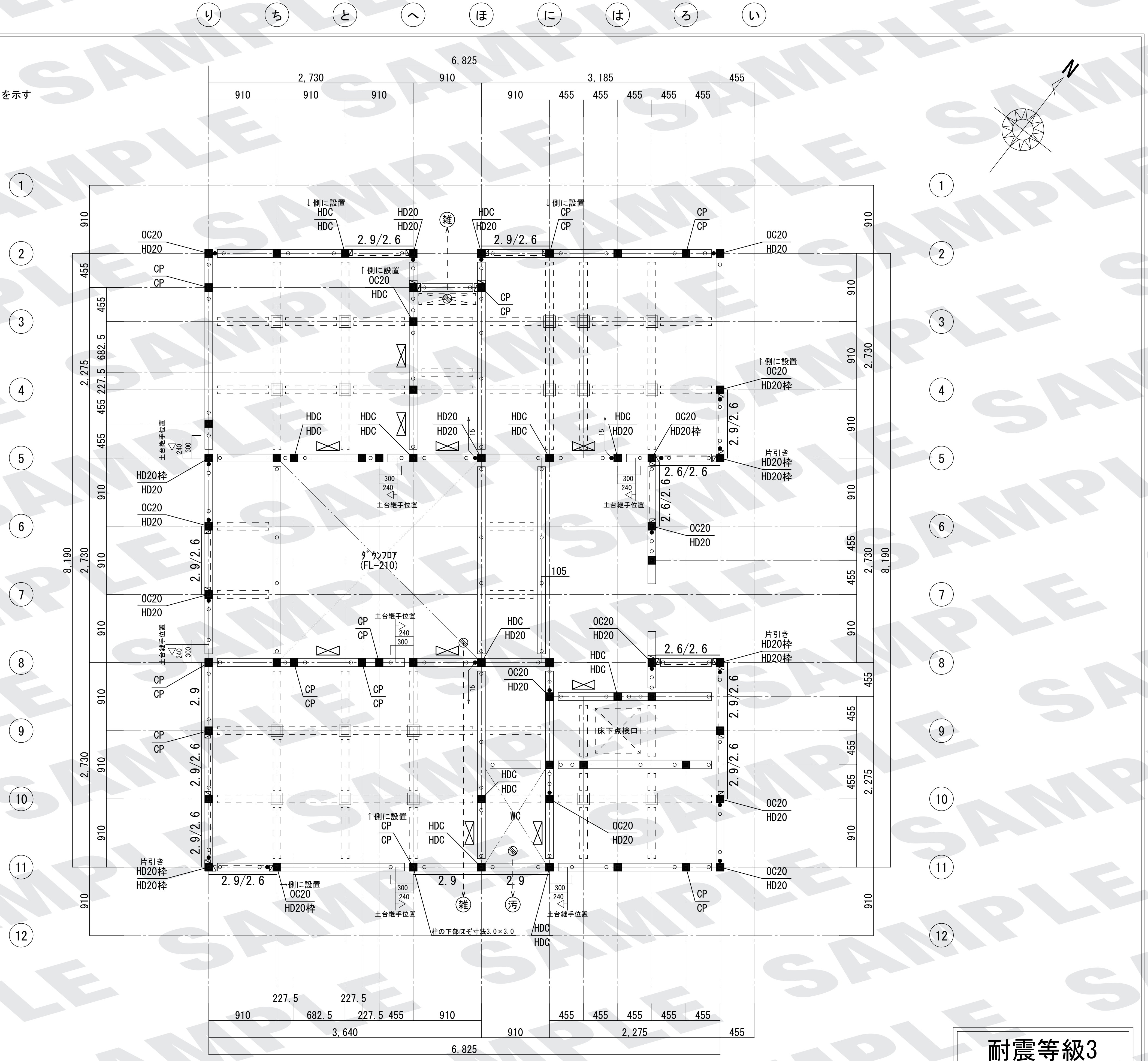
耐力壁凡例

記号	倍率	耐力壁の種類
◿	2.0	筋違(シングル) 45×90 柱頭 ◺ 柱脚
⋈	4.0	筋違(タスキ) 45×90
2.9	2.9	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁(壁勝) (FRM-0177)
3.0	3.0	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁(床勝) (FRM-0242)
2.6	2.6	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁 [入隅受材使用] (壁勝/床勝共)
2.6	2.6	novopanSTPⅡ厚9.0mm 受材真壁 (壁勝/床勝共) (FRM-0179) ※床勝の場合はW910のみ有効

※novopanSTPⅡの釘はN50又はCN50とし、外周@100mm、内周@200mmとする
※併用する場合は、上記倍率を加算する。
※一般壁(非耐力壁)の釘は 外周は@200、内周@300とする
※novopanSTPⅡの縦方向の受材はN90釘@100 千鳥で柱に留め付ける
(上下端部は端から50mmの位置に釘をﾀﾞﾌﾞﾙ)
※推奨する縦方向の受材(枠材)を伏図に記載しています

※金物を同等以上の金物に変更するときは基礎伏図のM16ｱﾝｶｰ位置を確認すること。
※金物は仕様箇所によって床合板仕様・受材仕様品を使い分ける。
※ｺｰﾅｰﾌﾟﾚｰﾄ系の金物は受材の上には施工しないこと。実験等で安全を確認したものを除く。
取りつかない場合は、金物をﾗﾝｸｱｯﾌﾟしHD20で対応すること
※柱脚のﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ金物を受材仕様にする時はM16の離れ寸法を要確認。
※筋交いﾌﾟﾚｰﾄの取り付く部材(土台、柱、梁、筋交い)の樹種が、
同等認定品、性能試験済、性能認定品等に適合する樹種か確認すること
(特に筋交いに米松、栂以外の材種を用いる場合は注意すること)
※筋交い及び筋交いﾌﾟﾚｰﾄは柱に取り付ける(受材に取り付けない)

▫ :受材 45×45を示す
▯ :受材 45×105を示す
▭ :受材 45×96(or 95)を示す



※HD20(HD20枠)とOC20は、工学的知見及び納まりを考慮し、使い分けしております
HD20(HD20枠)→OC20には変更出来ません。HD20(HD20枠)はHD穴加工有り
※構造用合板の流通不足への対応(大引き、甲乙梁の追加は施行者判断で可能とする)
※外周部の主要な出隅部は、HD20以上を取りつける(計算結果に拘らず)

耐震等級3

※住宅性能評価を取得しないと、耐震等級3相当になります

施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

ダイガク 二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :
DATE :

PROJECT TITLE	耐震等級3 2階建て 傾斜軸組
DRAWING TITLE	土台伏図
SCALE	S=1/55
SHEET NO	S-03

２ 階 床 伏 図 凡 例

※特記無き限り下記による

記号	種類	
■	管柱 （105×105）	（杉集成 E65-F255 トドマツ集成 E85-F300） 同一等級 （WW・RW・唐松・桧・エゾマツ）集成 E95-F315 同一等級 米松集成 E135-F405 トドマツ集成 E75-F270 同一等級
▣	管柱（通し束） （105×105）	（杉集成 E65-F255 トドマツ集成 E85-F300） 同一等級 （WW・RW・唐松・桧・エゾマツ）集成 E95-F315 同一等級 米松集成 E135-F405 トドマツ集成 E75-F270 同一等級
	特記なき柱のホゾ寸法は 8.6cm×3.0cm以下とする。	
╳	下階の柱	
105×（ ）	梁	特記なき梁成は 105×105とし、樹種は米松 無等級材とする ※ RW:ﾚｯﾄﾞｳｯﾄﾞ集成材 E105-F300 対称異等級 ※ E135:米松集成 E135-F375 対称異等級 ※ E150:米松集成 E150-F435 対称異等級
┌ ─ ─ ┐	甲乙材 （90×90）	（杉、米松、米栂、桧）無等級 （WW集成 E95-F315 RW集成 E95-F285） 同一等級 RW集成 E105-F300 対称異等級
	床板（2階）	構造用合板 t=24（四週釘打ち　N75＠150以下） ~~※UB設置範囲の構造用合板はt=30とする~~

※部材断面・材料強度等の変更に関しては、安全側への変更を許容する（耐力壁が載る梁を除く）

柱脚・柱頭金物種類　（在来工法）

※下記耐力と同等以上の金物も使用可能

符号	種　類	耐力(KN)	備　考
CP	告示1460号表3（は）	5.1	
HDC	告示1460号表3（へ）	10.0	平面・L型接合金物を想定
HD20 HD20枠	告示1460号表3（ち） 性能試験適合品 枠材45mm対応品	20.0	
HD25 HD25枠	告示1460号表3（り） 性能試験適合品 枠材45mm対応品	25.0	
HD30 HD30枠	性能試験適合品 性能試験適合品 枠材45mm対応品	30.0	M16ｱﾝｶｰの埋め込み長さを要確認 Zﾏｰｸ品は耐力25kN以下を想定
HD35 HD35枠	性能試験適合品 性能試験適合品 枠材45mm対応品	35.0	M16ｱﾝｶｰの埋め込み長さを要確認 Zﾏｰｸ品は耐力25kN以下を想定
OC20	オメガコーナー20	21.7	㈱タナカ（性能試験適合品）

※特記なき柱頭・柱脚には CPを取付けること

耐　力　壁　凡　例

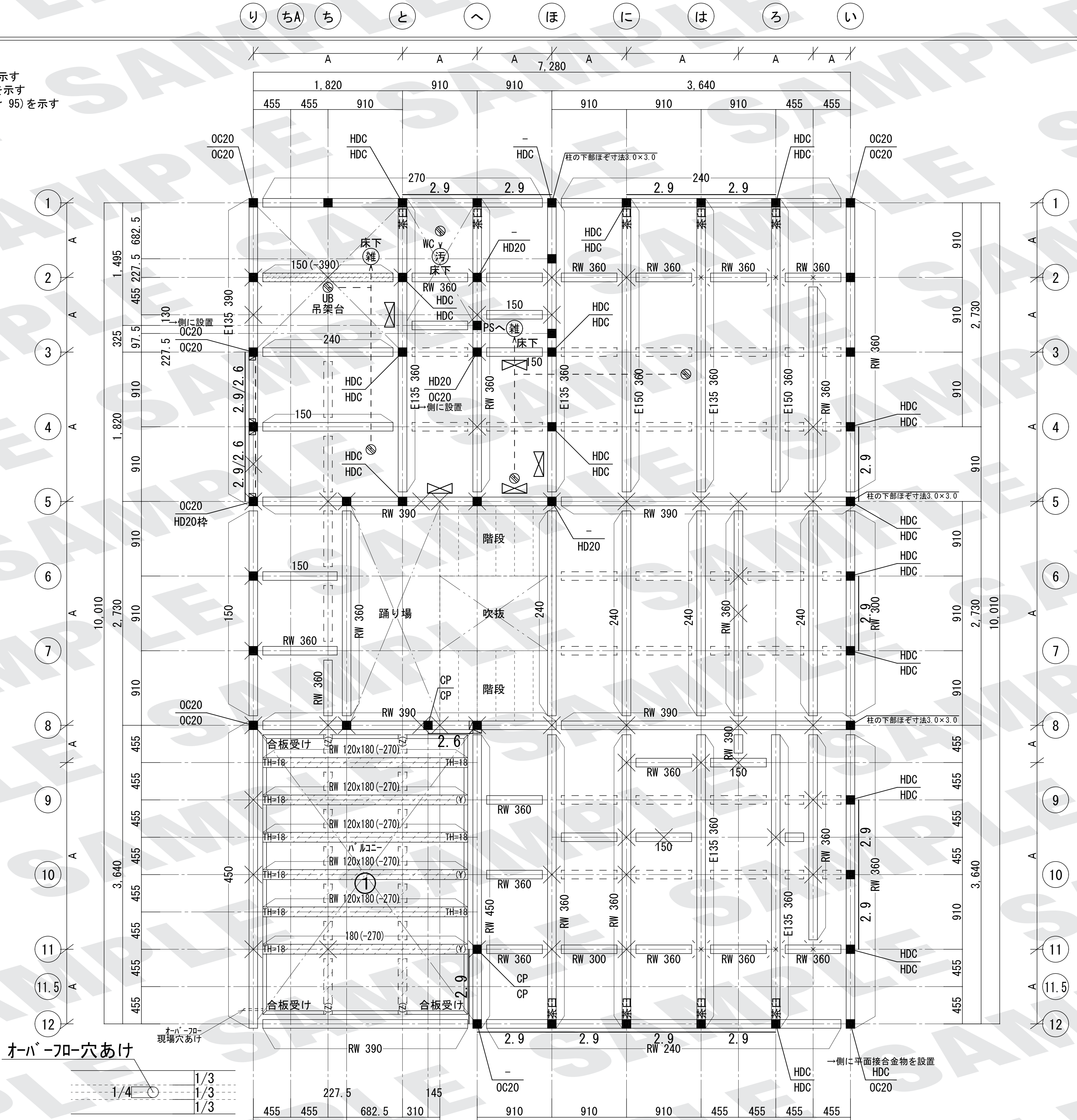
記号	倍率	耐力壁の種類
◺	2.0	筋違（シングル）　45×90　　柱頭 ◹ 柱脚
⋈	4.0	筋違（タスキ）　45×90
2.9	2.9	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁（壁勝）　（FRM-0177）
3.0	3.0	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁（床勝）　（FRM-0242）
2.6	2.6	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁 ［入隅受材使用］（壁勝/床勝共）
2.6	2.6	novopanSTPⅡ厚9.0mm　受材真壁（壁勝/床勝共）（FRM-0179） ※床勝の場合はW910のみ有効

※novopanSTPⅡの釘はN50又はCN50とし、外周@100mm、内周@200mmとする
※併用する場合は、上記倍率を加算する。
※一般壁（非耐力壁）の釘は　外周は@200、内周@300とする
※novopanSTPⅡの縦方向の受材はN90釘@100 千鳥で柱に留め付ける
（上下端部は端から50mmの位置に釘をﾀﾞﾌﾞﾙ）
※推奨する縦方向の受材（枠材）を伏図に記載しています

※金物を同等以上の金物に変更するときは基礎伏図のM16ｱﾝｶｰ位置を確認すること。
※金物は仕様箇所によって床合板仕様・受材仕様品を使い分ける。
※ｺｰﾅｰﾌﾟﾚｰﾄ系の金物は受材の上には施工しないこと。実験等で安全を確認したものを除く。
取りつかない場合は、金物をﾗﾝｸｱｯﾌﾟしHD20で対応すること
※柱脚のﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ金物を受材仕様にする時はM16の離れ寸法を要確認。
※筋交いﾌﾟﾚｰﾄの取り付く部材（土台、柱、梁、筋交い）の樹種が、
同等認定品、性能試験済、性能認定品等に適合する樹種か確認すること
（特に筋交いに米松、栂以外の材種を用いる場合は注意すること）
※筋交い及び筋交いﾌﾟﾚｰﾄは柱に取り付ける（受材に取り付けない）

※HD20（HD20枠）とOC20は、工学的知見及び納まりを考慮し、使い分けしております
HD20（HD20枠）→OC20には変更出来ません。HD20（HD20枠）はHD穴加工有り
※構造用合板の流通不足への対応（大引き、甲乙梁の追加は施行者判断で可能とする）
※外周部の主要な出隅部は、HD20以上を取りつける（計算結果に拘らず）
※（　　）内の数値は2階床梁上端からの寸法を示す

⧅ :受材 45×45を示す
▯ :受材 45×105を示す
▯ :受材 45×96(or 95)を示す



※梁の箇所は梁の上下1/3の箇所は避け、
最大の貫通口径は梁成の1/4以下とする
※集成材 対称異等級への適用は不可

耐震等級3

※住宅性能評価を取得しないと、耐震等級3相当になります

施主承諾	営　業	設 計	工 事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

ダイガク 二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :
DATE :

PROJECT TITLE		SHEET NO
耐震等級3 2階建て 傾斜軸組		S-04a
DRAWING TITLE: 2階床伏図（1）	SCALE S=1/55	

２ 階 床 伏 図 凡 例

※特記無き限り下記による

記号	種　類	
╳	下階の柱	
105×(　)	梁	特記なき梁成は 105×105とし、樹種は米松 無等級材とする ※ RW:ﾚｯﾄﾞｳｯﾄﾞ集成材 E105-F300 対称異等級 ※ E135:米松集成 E135-F375 対称異等級 ※ E150:米松集成 E150-F435 対称異等級
	床板（2階）	構造用合板 t=24（四週釘打ち　N75＠150以下） ~~※UB設置範囲の構造用合板はt=30とする~~

※部材断面・材料強度等の変更に関しては、安全側への変更を許容する(耐力壁が載る梁を除く)

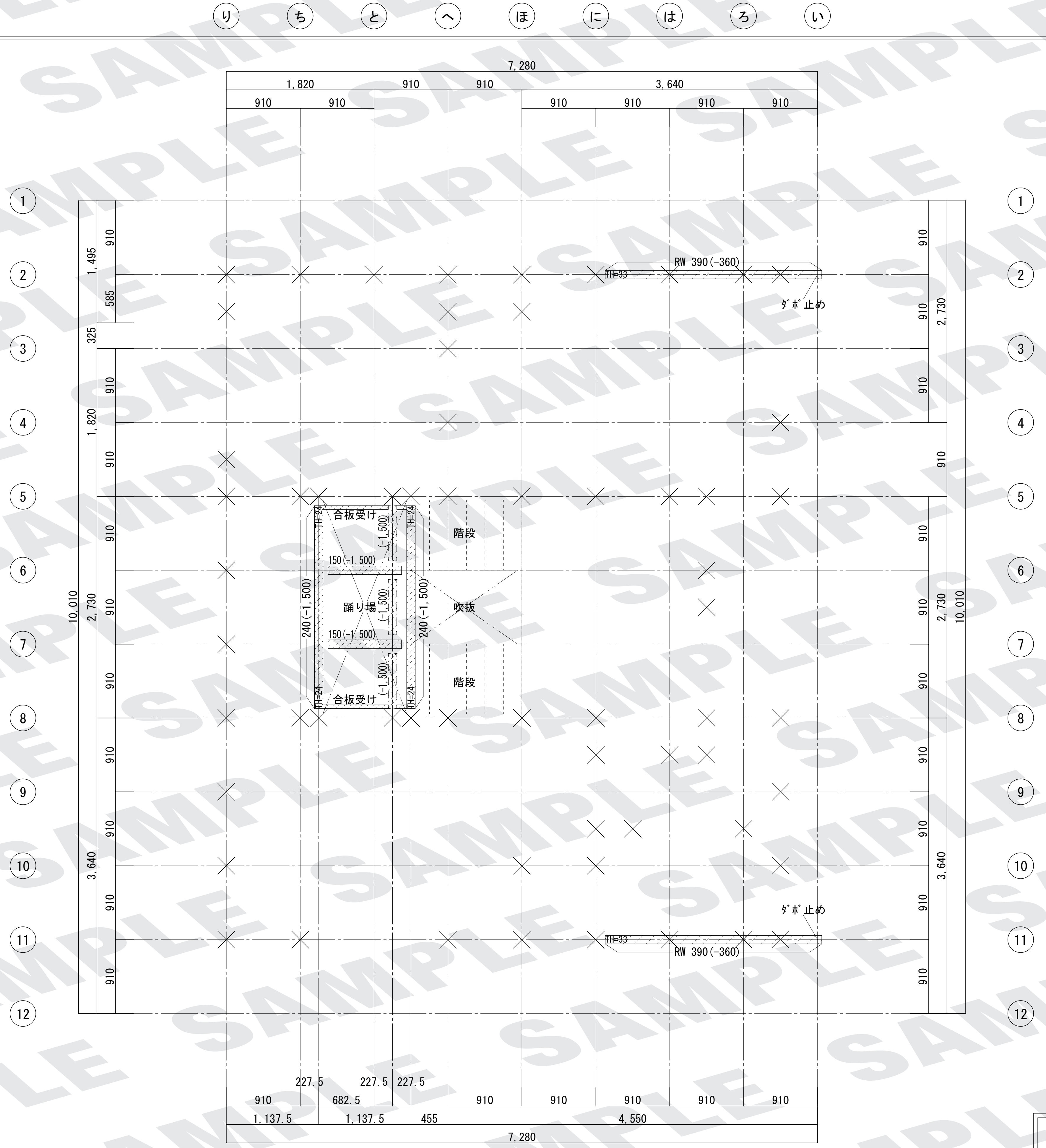
S-04a・04bのせん断耐力を示す

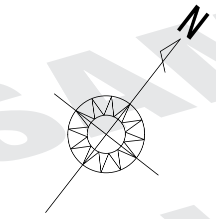
特記なき箇所：　床合板仕様　構造用合板24mm
4周釘打ち N75@150　:せん断耐力7.84KN/m

①:床合板仕様　構造用合板24mm
4周釘打ち N75@150　:せん断耐力7.84KN/m
合板を打ち付ける梁がない箇所は
合板受け45×90 N90釘@100千鳥を施工

※ 同一梁成内の床下げ、せん断耐力は7.84KN/mとする

※階段、吹抜、踊り場、UBはせん断耐力を0とする





耐震等級3

※住宅性能評価を取得しないと、耐震等級3相当になります

※外周部の主要な出隅部は、HD20以上を取りつける(計算結果に拘らず)
※(　　)内の数値は2階床梁上端からの寸法を示す

施主承諾	営　業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO	PROJECT TITLE		SHEET NO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更	耐震等級3 2階建て 傾斜軸組		S-04b
				訂正日 H		DRAWING TITLE	SCALE	
				訂正日 H		2階床伏図(2)	S=1/55	
				訂正日 H				

ダイガク 二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :

DATE :

小屋伏図凡例

※特記無き限り下記による

記号	種類	
×	下階の柱	
105×( )	梁	特記なき梁成は 105×105とし、樹種は米松 無等級材とする ※ RW:ﾚｯﾄﾞｳｯﾄﾞ集成材 E105-F300 対称異等級 ※ E135:米松集成 E135-F375 対称異等級 ※ E150:米松集成 E150-F435 対称異等級
⊠	管柱(通し束) (105×105)	
○	束 (105×105)	(杉集成 E65-F255 トドマツ集成 E85-F300) 同一等級 (WW・RW・唐松・桧・エゾマツ)集成 E95-F315 同一等級 米松集成 E135-F405 トドマツ集成 E75-F270 同一等級
~~[ ]~~	~~甲乙材 (90×90)~~	~~(杉、米松、米栂、桧)無等級 (WW集成 E95-F315 RW集成 E95-F285) 同一等級 RW集成 E105-F300 対称異等級~~
	~~床板~~	~~構造用合板 t=24(四週釘打ち N75@150以下)~~
	鋼製火打ち (L=600 ﾋﾞｽ止め)	~~木製火打ち 90×90(米松KD材・無等級)~~

※軒梁から屋根面までnovopanSTPⅡ厚9.0mm 張りとする
釘ピッチ等は耐力壁仕様と同様とする
※ 特記なき柱(束)には CPを取付けること。

※部材断面・材料強度等の変更に関しては、安全側への変更を許容する(耐力壁が載る梁を除く)

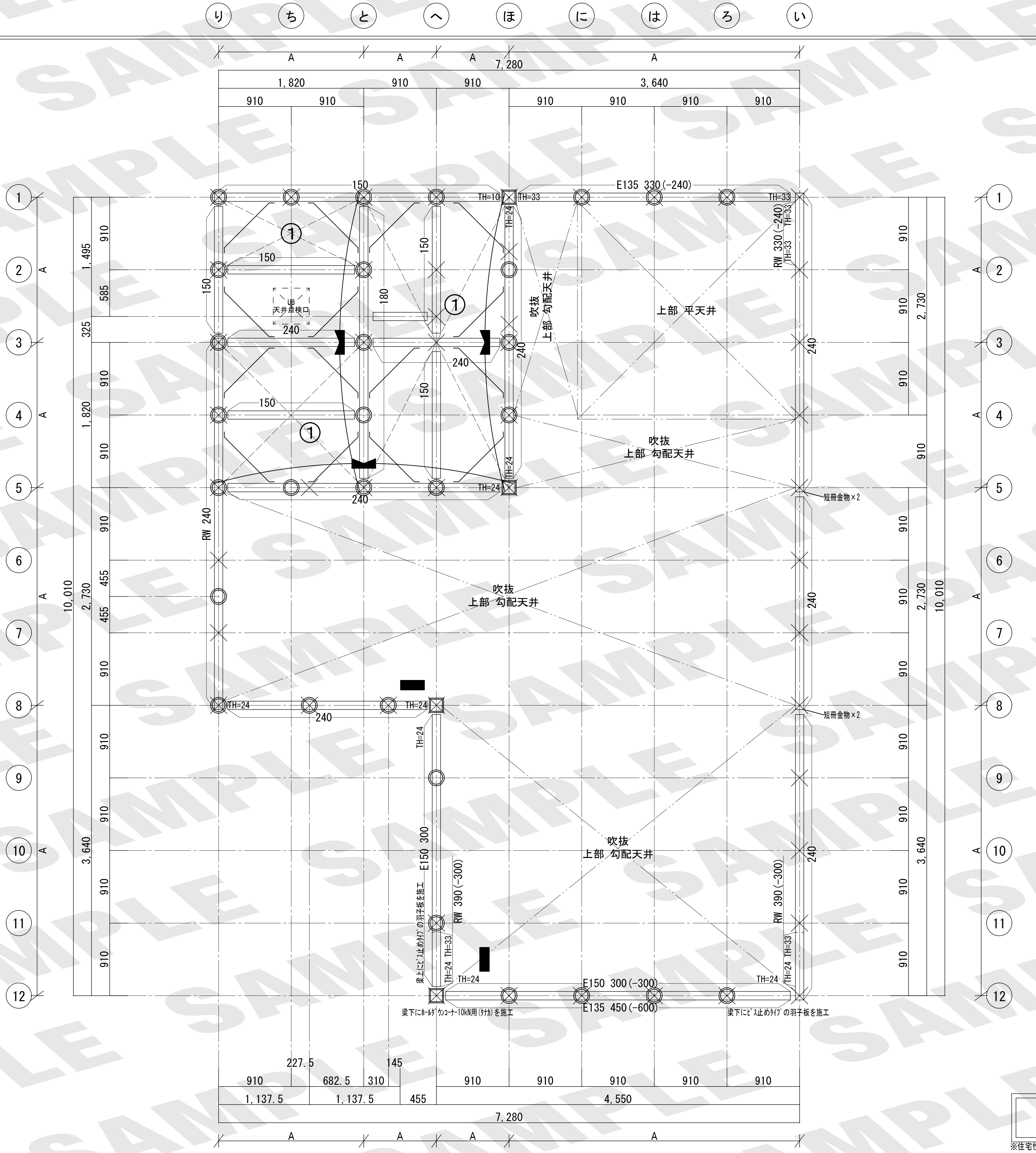
横架材端部接合物 S-10a,S-10b,S-11共通 ※特記無き限り(B) ※下記耐力と同等以上の金物も使用可能		引張耐力
(A)	(B)、もしくは、ﾋﾞｽどめ登り梁金物(ﾀﾅｶ)、又は、ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝｺｰﾅｰ10kN用(ﾀﾅｶ)	8.7
(B)	腰掛け蟻、もしくは、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、 又は、短冊金物	10.0
(C)	腰掛け蟻、もしくは、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2、又は、短冊金物×2	15.0
(D)	ホーマープレート(同等品)×2、もしくは、ステア羽子板ボルト×2	20.0
(E)	ホーマープレート(同等品)×2、もしくは、ステア羽子板ボルト×3	25.0
(X)	ビスどめ登り梁金物(タナカ)	
(Y)	梁受け金物(ツメなし)(タナカ)	
(Z)	大引き受け金物Ⅱ(タナカ)	
TH-10	ﾃｯｸﾜﾝ P3(株式会社ﾀﾂﾐ) 柱材・梁材共(杉KD E50)の耐力	梁-梁 12.2 柱-梁 8.9
TH-18	ﾃｯｸﾜﾝ P3(株式会社ﾀﾂﾐ) 柱材・梁材共(杉KD E50)の耐力	梁-梁 15.1 柱-梁 12.9
TH-24	ﾃｯｸﾜﾝ P3(株式会社ﾀﾂﾐ) 柱材・梁材共(杉KD E50)の耐力	梁-梁 28.4 柱-梁 23.4
TH-33	ﾃｯｸﾜﾝ P3(株式会社ﾀﾂﾐ) 柱材・梁材共(杉KD E50)の耐力	梁-梁 41.2 柱-梁 23.5
	ﾋﾞｽどめ登り梁金物(ﾀﾅｶ)	8.7
	ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝｺｰﾅｰ10kN用(ﾀﾅｶ)	13.5

小屋補強凡例

記号	補強方法
(雲筋違い記号)	雲筋違い 15×90以上
(黒塗り記号)	novopanSTPⅡ 厚9.0mm 受材真壁 もしくは、構造用せっこうボードA種 直張り大壁

※novopanSTPⅡの釘はN50とし、外周@100mm、内周@200mmとする。

※構造用せっこうボードA種の釘はGNF40又はGNC40とし、外周・内周@150mmとする。



※小屋梁は部材断面、材料強度の変更に関しては、安全側への変更を許容し、
強度が高い樹種への変更は可能とする
(PH階の耐力壁が載る梁は除く)

※構造用合板ﾒｰﾀｰ版の流通不足への対応(大引き、甲乙梁の追加は施行者判断で可能とする)
※(　　)内の数値は軒桁上端からの寸法を示す。

耐震等級3

※住宅性能評価を取得しないと、耐震等級3相当になります

施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

ダイガク 二級建築士事務所
構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :
DATE :

PROJECT TITLE: 耐震等級3 2階建て 傾斜軸組

DRAWING TITLE: 小屋伏図

SCALE: S=1/55

SHEET NO: S-05

母屋伏図凡例

※特記無き限り下記による

記号	種類	
×	下階の束	
105×(　)	棟木,母屋 隅木,谷木 登梁	特記なき梁は 105×105とし、樹種は (杉、米松、米栂、桧)無等級材とする そのうち梁成150以上の材は米松KD 無等級材とする ※ RW:ﾚｯﾄﾞｳｯﾄﾞ集成材 E105-F300 対称異等級
－－－－	垂木	特記無き垂木は 45×90 @910 （米栂、米松、桧、赤松）無等級材
	屋根野地板	構造用合板 t=24（川の字釘打ち　N75@150以下） ※屋根葺き材の設計・施行基準を厳守すること

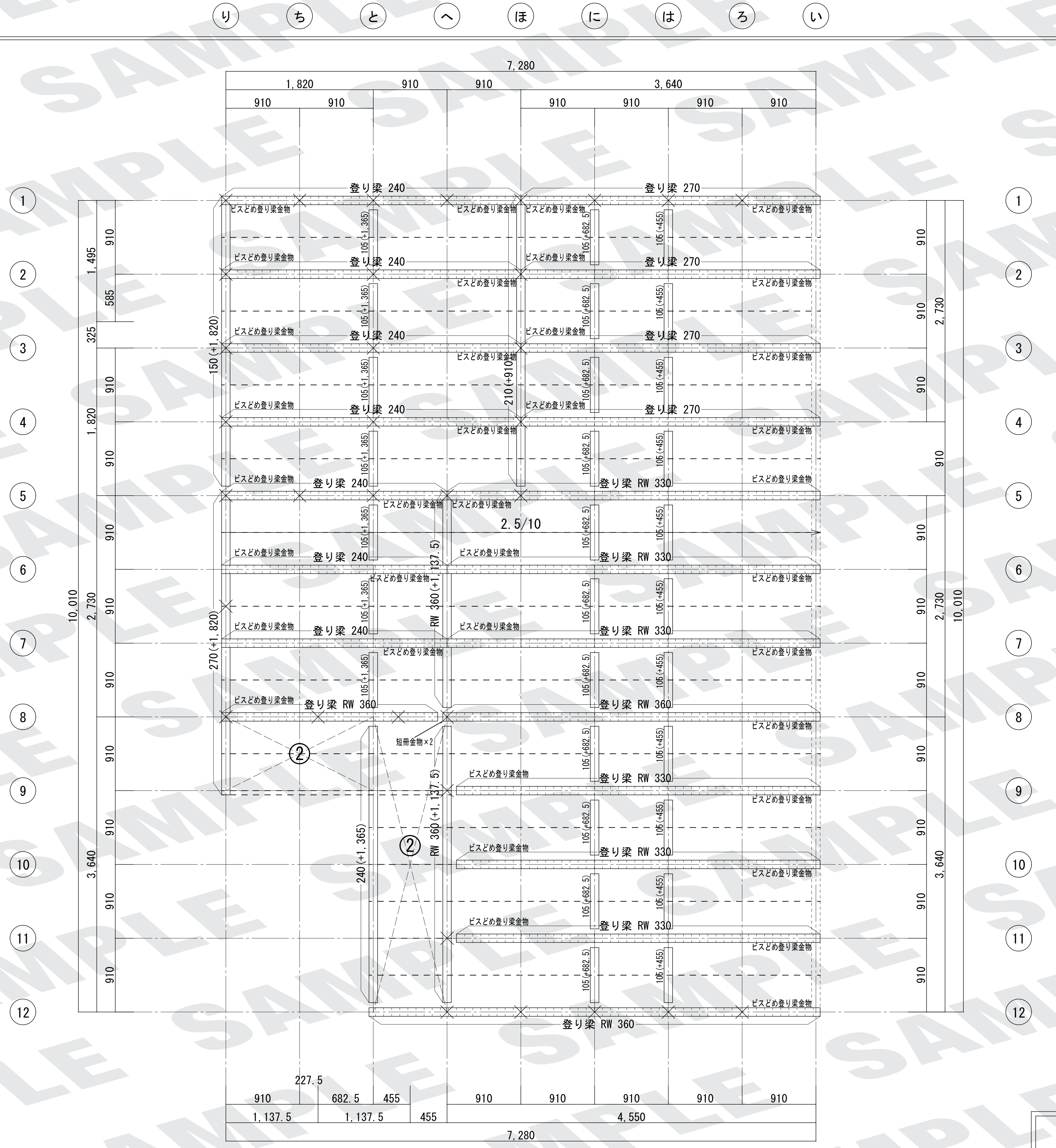
※部材断面・材料強度等の変更に関しては、安全側への変更を許容する(耐力壁が載る梁を除く)

S-05・06のせん断耐力を示す

特記なき箇所:屋根面 傾斜軸組(床の軸組を傾斜させたもの)
床合板仕様　構造用合板24㎜
登り梁に川の字釘打ち N75@150　:せん断耐力3.42KN/m
※火打ちあり区画でも区画内に継手があれば、せん断耐力3.42KN/m

①:屋根面 傾斜軸組(床の軸組を傾斜させたもの)
床合板仕様　構造用合板24㎜
登り梁に川の字釘打ち N75@150　:せん断耐力3.42KN/m
火打負担面積2.50㎡ 以下
取り付く梁成150以上　:せん断耐力1.18KN/m

②:2.5寸勾配(転び止めなし)　構造用合板厚24㎜
垂木に川の字釘打ち N75@150
垂木45×90@455
※屋根面の耐力は評価できない



※小屋束と母屋の接合部には、CP(L型接合金物)を取り付けること
※小屋束と登り梁の接合部には、CP(平面接合金物)を取り付けること
※屋根ふき材は昭和46年 建設省告示109号の構造方法に従うこと(施行令39条第2項)
※(　　)内の数値は軒桁上端からの寸法を示す。

耐震等級3

※住宅性能評価を取得しないと、耐震等級3相当になります

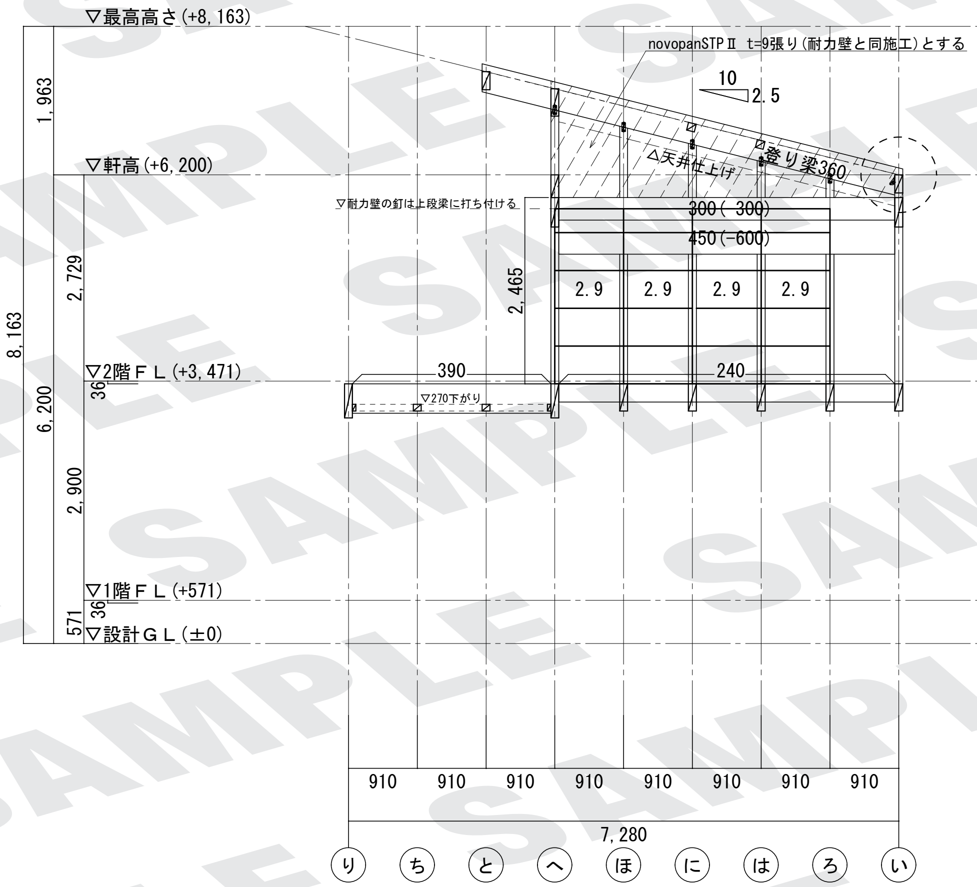
施主承諾	営　業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

ダイガク 二級建築士事務所
構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

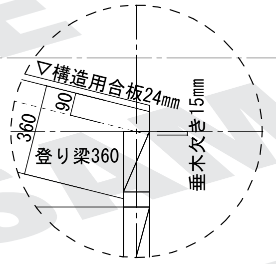
DRAWING BY :
DATE :

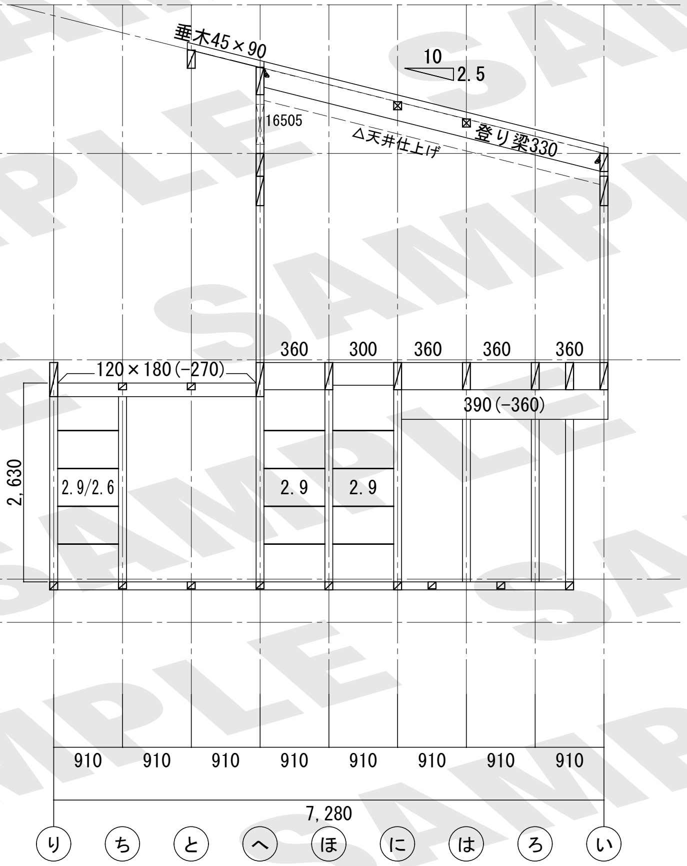
PROJECT TITLE	SHEET NO
耐震等級3 2階建て 傾斜軸組	S-06

DRAWING TITLE	SCALE
母屋伏図	S=1/55

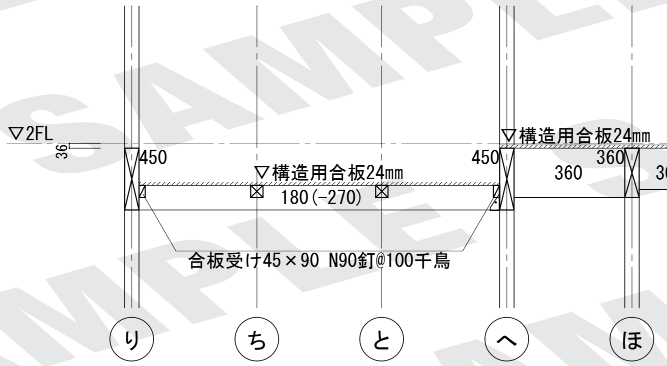


12 通り軸組図 S=1/100





11 通り軸組図 S=1/100



11.5 通り簡易軸組図 S=1/50

記号	倍率	耐力壁の種類
(筋違シングル記号)	2.0	筋違(シングル) 45×90
(筋違タスキ記号)	4.0	筋違(タスキ) 45×90
2.9	2.9	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁(壁勝) (FRM-0177)
3.0	3.0	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁(床勝) (FRM-0242)
2.6	2.6	novopanSTPⅡ厚9.0mm 直張り大壁 [入隅受材使用] (壁勝/床勝共)
2.6	2.6	novopanSTPⅡ厚9.0mm 受材真壁 ※床勝の場合はW910のみ有効 (壁勝/床勝共)(FRM-0179)

※novopanSTPⅡの釘はN50又はCN50とし、外周@100mm、内周@200mmとする
※併用する場合は、上記倍率を加算する。
※一般壁(非耐力壁)の釘は 外周は@200、内周@300とする

特記なき事項は下記による

土台(注入)	(桧·米松) KD無等級材 (唐松、国産赤松)集成 E95-F315 同一等級	耐力壁	novopanSTPⅡ t=9mm
管柱	105×105(杉集成 E65-F255 トドマツ集成 E85-F300・E75-F270) (WW・唐松・RW・桧・エゾマツ集成)E95-F315 105×105(米松集成) E135-F405	釘打方法	耐力壁の釘はN50又はCN50とし、外周@100mm、内周@200mmとする
梁	特記なき梁成は 105×105とし、樹種は米松 無等級材とする ※ RW:ﾚｯﾄﾞｳｯﾄﾞ集成材 E105-F300 対称異等級 ※ E135:米松集成 E135-F375 対称異等級 ※ E150:米松集成 E150-F435 対称異等級	※耐力壁の倍率は、各階伏せ図も参照する事。	
母屋	特記なき梁成は105×105とする。 樹種は(米栂、米松、桧、杉)無等級材とする。 そのうち梁成150以上の材は 米松無等級材 若しくは 対称異等級 米松集成(E120-F330)、RW集成(E105-F300)、唐松集成(E95-F270,E105-F300)	有効細長比(各階最大)	2階：λ＝ 89.927(一般部) 1階：λ＝ 95.562(一般部)

※「構造耐力上主要な部分に使用する木材の品質は、節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等による耐力上の欠点がないものを使用する」(建築基準法施行令第条第条41条)

※杉 無等級材より基準強度が劣る材(構造材以外も含む)を用いる場合は以下に注意すること
金物が同等認定品、性能試験済、性能認定品等に適合する樹種か確認すること(耐力壁の認定も含む)
杉 無等級材より基準強度が劣る材では安全性を確保出来ない可能性があります

耐震等級3

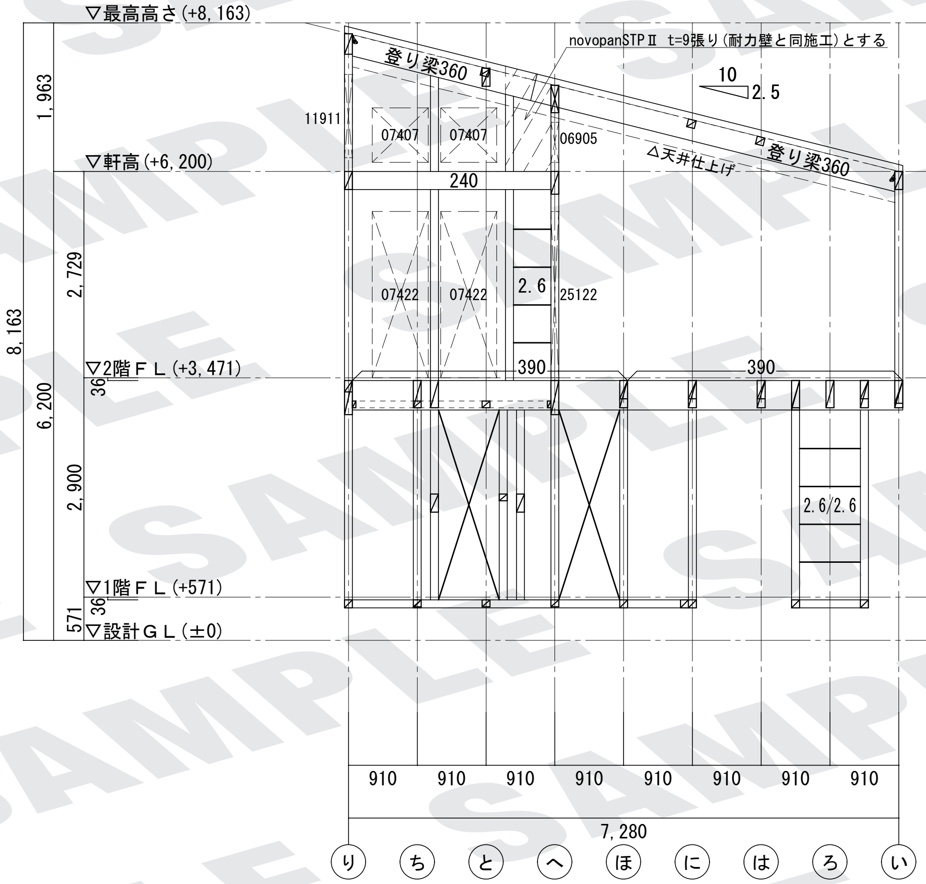
※住宅性能評価を取得しないと、耐震等級3相当になります

施主承諾	営 業	設 計	工 事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

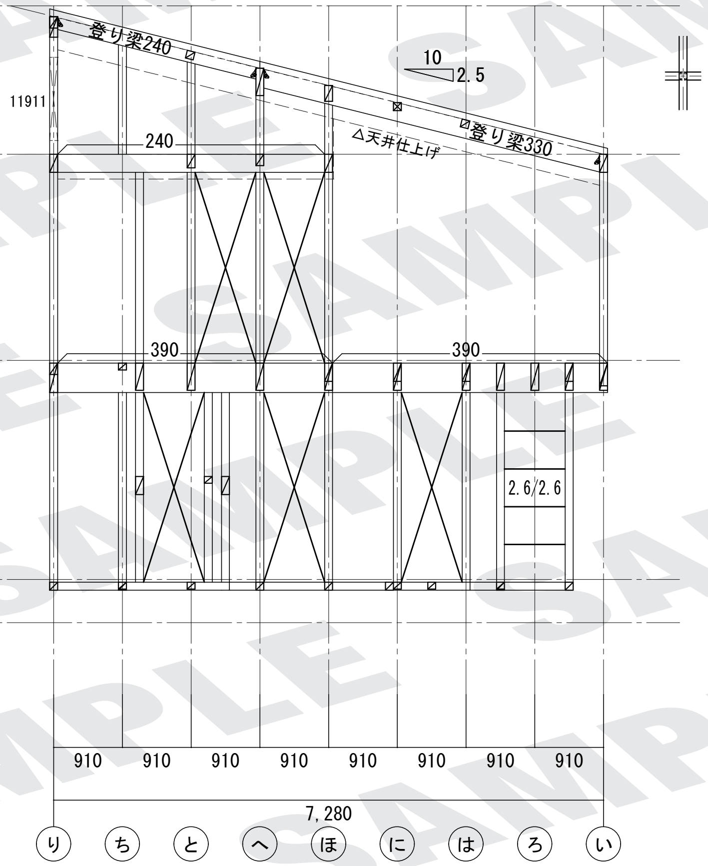
ダイガク 二級建築士事務所
構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :
DATE :

PROJECT TITLE: 耐震等級3 2階建て 傾斜軸組
DRAWING TITLE: 軸組図(1)
SCALE: S=1/100
SHEET NO: S-07



8 通り軸組図 S=1/100



5 通り軸組図 S=1/100

施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

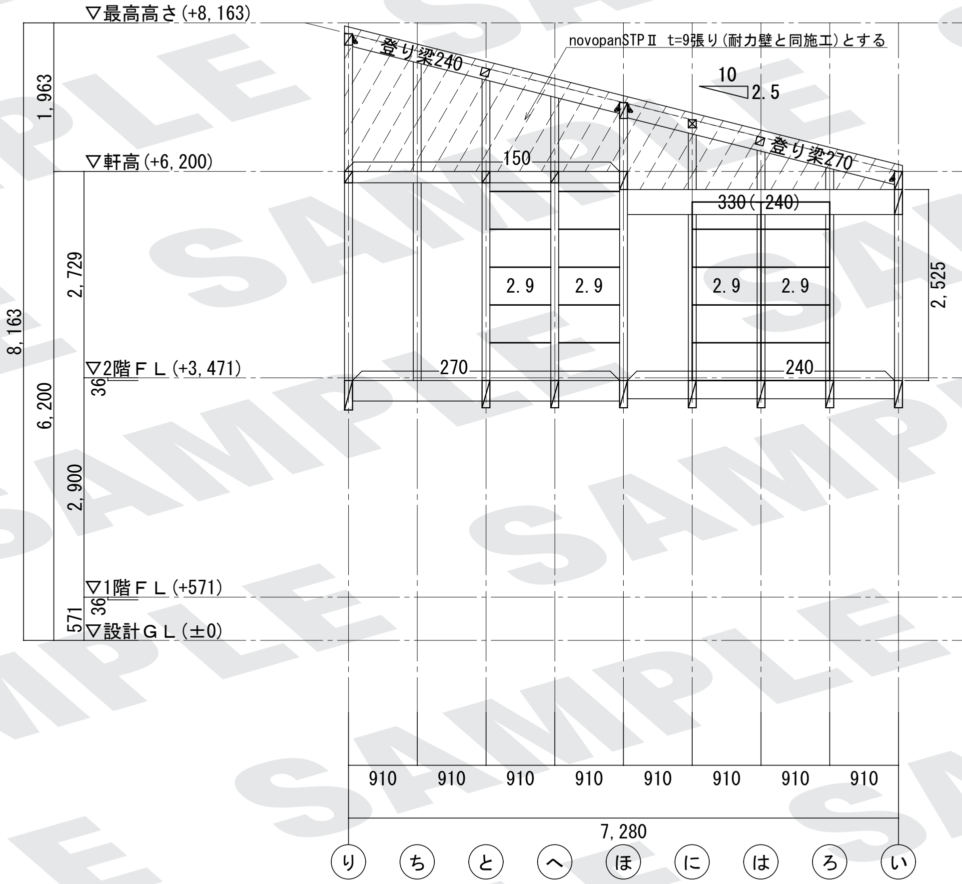
ダイガク
二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

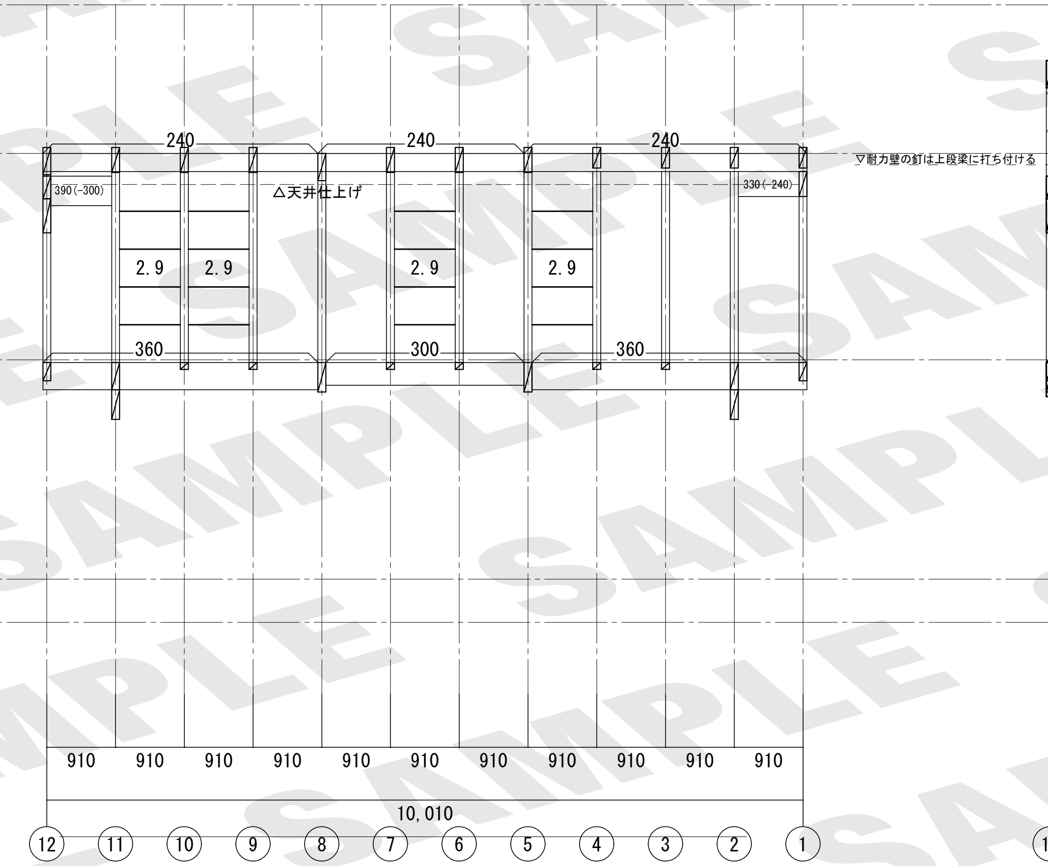
DRAWING BY :
DATE :

PROJECT TITLE: 耐震等級3 2階建て 傾斜軸組
DRAWING TITLE: 軸組図(2)
SCALE: S=1/100
SHEET NO: S-08

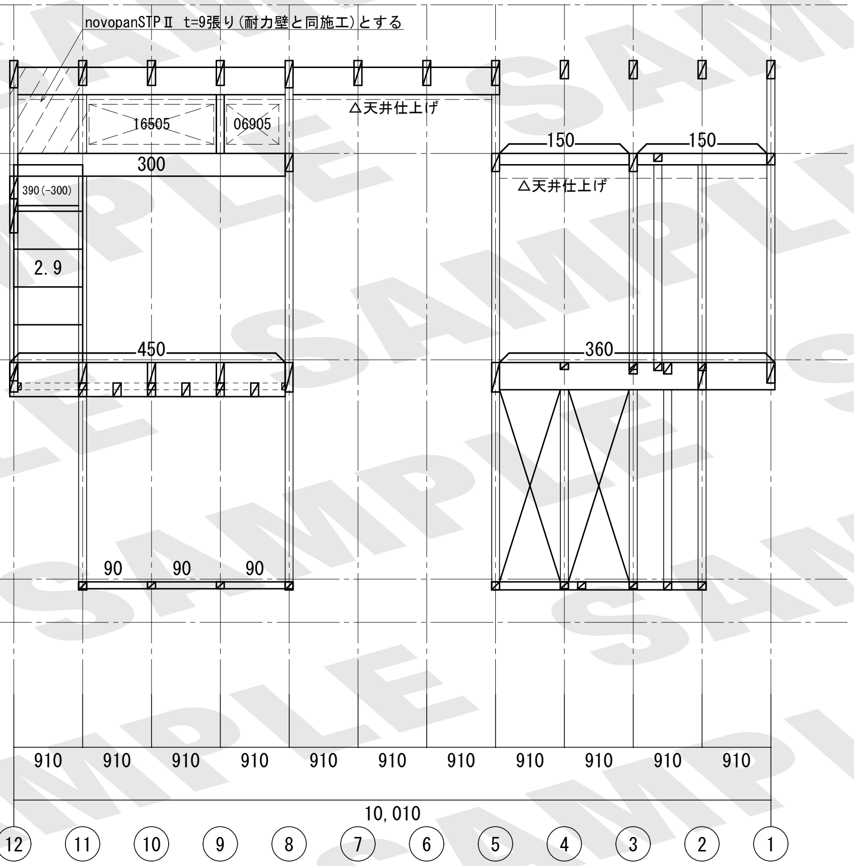
SAMPLE



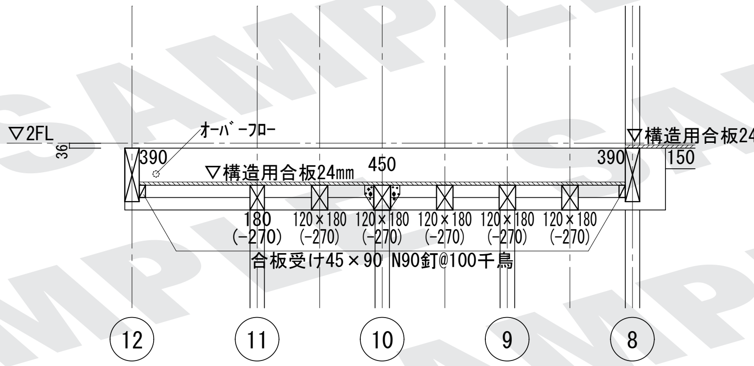
1 通り軸組図 S=1/100



い 通り軸組図 S=1/100



へ 通り軸組図 S=1/100



ちA 通り簡易軸組図 S=1/50

施主承諾	営 業	設 計	工 事	訂正図面作成日	MEMO
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更
				訂正日 H	
				訂正日 H	
				訂正日 H	

ダイガク
二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :
DATE :

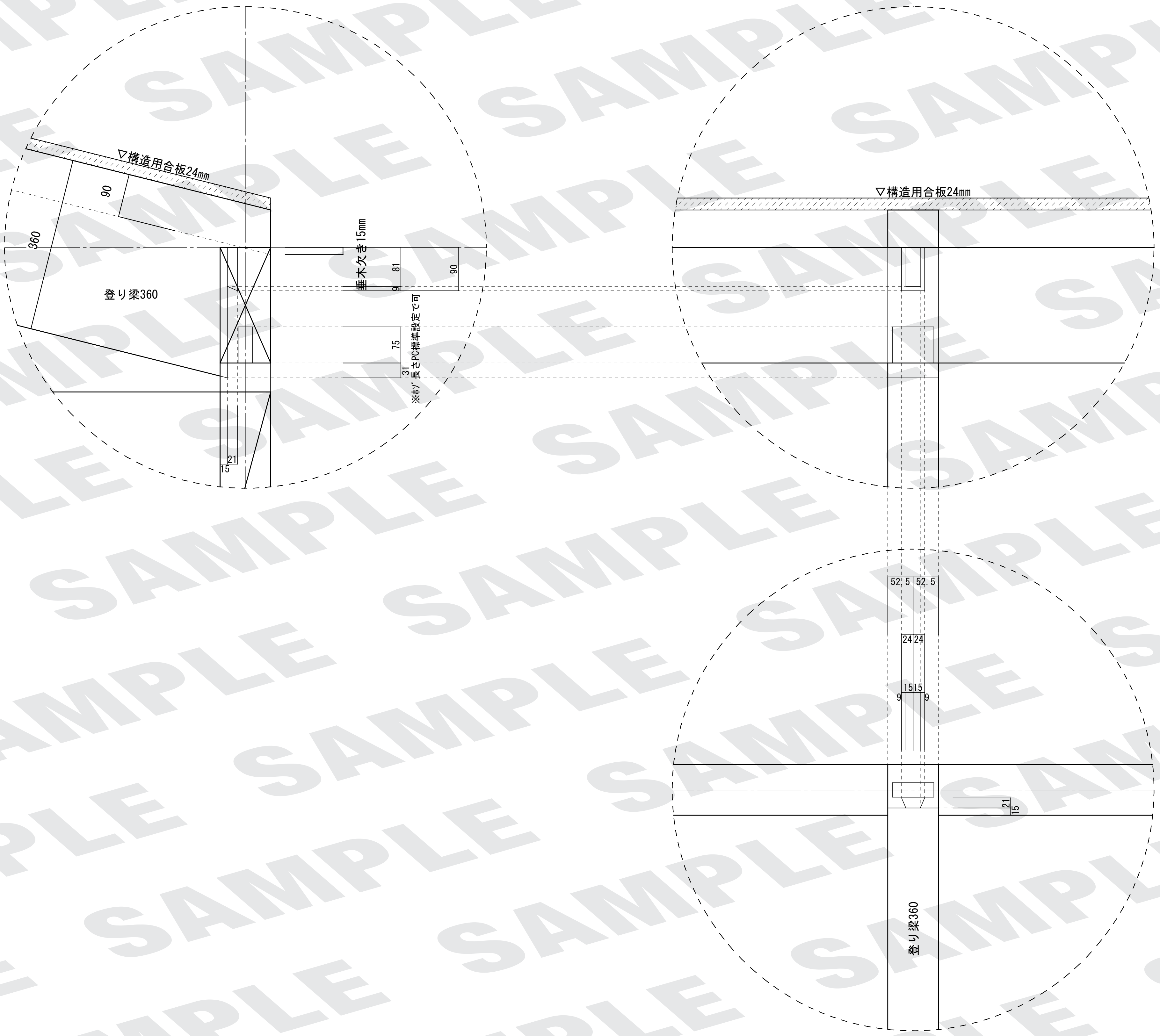
PROJECT TITLE
耐震等級3 2階建て 傾斜軸組

DRAWING TITLE
軸組図(3)

SCALE
S=1/100

SHEET NO
S-09

SAMPLE



SAMPLE

施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO	PROJECT TITLE 耐震等級3 2階建て 傾斜軸組
				2025/09/16	基礎の芯振りを変更	
				訂正日 H		DRAWING TITLE 登り梁の兜蟻掛け
				訂正日 H		SCALE S=1/10
				訂正日 H		SHEET NO S-10

ダイガク
二級建築士事務所

構造設計者 ダイガク二級建築士事務所
二級建築士事務所埼玉県知事登録第(2)11349号
二級建築士茨城県知事登録第12317号 大槻 学

DRAWING BY :
DATE :